2026年7月発行

あおい通信 7号

代表の自慢話

作・松山

Bar『aoi』へようこそ

まだ梅雨の湿気がねっとりと肌に
まとわりつく、七月の夜。
一人の男が、路地裏に佇むバーの重いオーク扉を押し開けた。

「いらっしゃいませ。Bar『aoi』へようこそ。
マスターの道場と申します。
当店では、迷える経営者の方々に至極のビジネスアドバイスと、最高の一杯をご提供しております」

マスターはグラスを磨く手を止め、静かに微笑んだ。

「……お勧め、ですか？ そうですね。
やはりカクテルの王様、『ドライ・マティーニ』ですね。
シンプルさゆえに、バーテンダーの真の技量が
試される最高峰のカクテルですからね」

「……ええ、私自身の好きなドリンクですか？
『カルピスのロック』ですね。
え？ お酒？ いや、お酒は全然飲めないので…。
は？ 何か文句あります？
どうせあなたも、酒の味なんて分からないのに、格好つけて、一人でバーに来たかっただけですよね？
経営アドバイス？
あなたみたいな人間は、大人しく家に帰ってmixiでもやってればいいんですよ」

…夜はまだ明けない。
路地裏には、男たちが拳と拳を激しくぶつけ合う鈍い音が、いつまでも熱く鳴り響いていた。

※「Bar aoi」とは、あおい総研がnoteに投稿している『ビジネス小説』に登場するBarをモチーフにしたものです。
物語を通じて楽しみながら経営知識を学べるので、ぜひnoteもチェックしてみてください。

https://note.com/aoisouken

きちんと伝えていますか？

「うちはこういうサービスもやっています」と勧めるのは、売り込みみたいでイヤだな、と思っていませんか？でも、それがお客さんの役に立つことなら、**伝えることが親切になる**場合もあります。
私自身、そんな経験をしました。
先日、タイヤ交換で自転車屋さんに行った際、会計時に「洗車サービスもありますが、いかがですか？」と声をかけてもらったのです。実はそのサービス自体は知っており、何かのついでにお願いしようと思っていたのですが、言われるまですっかり忘れていました。忘れたまま帰っていたら、後悔したはずなので、「勧めてくれてありがとう」と思っています。このように、サービスや商品について、お客さんは知らなかったり、忘れていたりします。
「これもやっておくといいと思うのですが、いかがですか？」そんな一言が、喜ばれる提案になるかもしれませんので、ぜひ伝えてみてください。（金田）

新 マイブーム到来！

こんにちは。金田です。私は、AIに質問や相談をよくするのですが、最近はChatGPTを多く使います。理由は、回答の質もありますが、別の楽しみがあるからです。それが、**たとえ話。**
先日、大きすぎる画像ファイルの扱いを相談したところ、「145MBの画像をAIに渡すのは**『米俵を封筒に入れて送ろうとしている』**状態です」と返ってきました。他にも、「人間はだいたい雑です。**朝のコンビニのレジくらい雑**です」や「**包丁を持たせた新米料理人**のように、AIが勝手に料理し始めます」など、独特なセンスのたとえ話を出してくれます。こういうたとえ話に出会うたび、私はメモ帳に保存しているのですが、最近はAIに相談しているのか、たとえ話を採集しているのか、自分でもよくわからなくなってきました。

こんにちは。統括の松山です。**夏といえば怪談。**皆さんは幽霊の存在を信じますか？私は半信半疑派です。友人が「幽霊らしきものを見た」と言えば、実在はともかく「本人が何かを目撃した事実」は信じますが、例えば自称霊能力者が心霊写真（？）を見て「これは浮遊霊ですね」と鑑定する類のものは全く信じていません。しかし、長く生きていれば、誰でも説明のつかない怪奇現象を経験するものだとは思っています。
私の場合は「他人に見えないものが見える」というスピリチュアルな怪奇ではありませんでした・・。
ある日の電車内でのこと。空いていた席に座った瞬間、周囲の乗客が私を見て驚いているのがすぐに分かりました。え？ なんか悪いことした？恐る恐る確認すると、なんと、**その席に座っていたおばあさんの膝の上に着席していた**のです。霊は見えなくても、現世の人間を見落とす最恐の特殊能力ではないでしょうか。・・これは**不注意盲目という脳のバグ**です。**「そこにあるはずがない」「絶対にこうだ」と確信しているときほど、実は目の前の真実を見落としている**かもしれません。
皆さんもお気をつけくださいね。

筋力や瞬発力が衰える中、良いタイムを出せました！

こんにちは！事務の三木です。
私は中学までスイミングクラブの選手コースに所属していました。その後しばらく泳いでいなかったのですが、子育てが落ち着き、健康維持のために再開し、成人指導コースで週に２回の練習と、年に２回大会に参加しています。
泳ぎ始めた頃は、練習すると、大人になってからのベストタイムが出せていたのですが、ここ最近、**筋力や瞬発力の衰えで、専門のクロールのタイムが緩やかに落ちる**という壁に直面中…。そこで、これまで一番苦手で避けてきた平泳ぎを速くしようと、Youtubeでフォームを研究して練習したところ、**先日出場した大会で良いタイムを出せました！**
次の大会に向けて引き続き頑張ります。もう少し速くなったら、タイムを公表しようと思います。

江戸時代のスーパーコンサルタント

夏になると、夏バテ対策としてうなぎを食べる方は多いのではないでしょうか。
「夏の土用の丑の日といえばうなぎ！」という風習がありますよね。では、なぜ夏にうなぎなのでしょうか。
諸説ありますが、江戸時代の発明家・平賀源内が、「うなぎは冬が旬だから、夏は売れない」と嘆くうなぎ屋に相談され、**『本日、土用の丑の日』**と書いた看板を作ったことが起源とされています。丑の日には「う」のつくものを食べると良いとされていたため、うなぎ屋は大繁盛。他のうなぎ屋も次々と真似をするようになり、**『夏の土用の丑の日＝うなぎ』**という風習が全国に根付いていきました。つまり、これは**『江戸時代から現在まで続く、伝説のキャッチコピー』**です。当時から現在までで、平賀先生がもたらした累計売上はいったいいくらになるのでしょうか。
あおい総研も、負けじと頑張ります。

会社概要

会 社 名　株式会社あおい総合研究所
事業内容　経営コンサルティング
売上アップ、集客代行、資金繰り、求人、
人事制度など、中小零細企業の経営課題を全て解決
所 在 地　〒349-1134　埼玉県加須市北下新井54-1
連 絡 先　info@aoisouken.co.jp
代 表 者　道場 明彦
ニュースレター担当者　青山 高巳

※ニュースレターの送付停止・その他お問い合わせは、右記QRコードまたは下記URLよりお願いいたします(Googleフォームに移動します)。
https://forms.gle/ZsXrSV6gr4tjehXt5